

第6回 ミーティング

平成 29 年 2 月 18 日（土）15：00～17：00
栗平白鳥自治会館にて

今年最初のミーティングでした。（参加者 6 名、欠席者 1 名。）

最初に、年会費と費用立替分負担金の集金と、立替金の精算をしました。昨年末に決まった会計さんの初仕事。お疲れ様でした。

いつものように、持ち寄りのお茶とお菓子を準備して、ミーティング開始。

先ずは、メンバーが見つめてくれた 2 月 3 日付毎日新聞朝刊の防災コーナー掲載記事「被災してもペットと一緒に」を皆で読み、意見交換をしました。

記事内容は、熊本地震での課題、獣医師らの事前確保、ボランティア仲介、支援状況の提供となっており、「災害時動物愛護ボランティアリーダーの育成は必要だろう。」「将来的には、ペットとぼうさいのメンバーが、ボランティアリーダーになれるような取り組みも必要だろう。」「静岡県で実施した 3 回の災害時動物愛護ボランティアリーダー養成講座の内容はどのようなものなのか。」などの意見がありました。

また、被災直後に一時預かり支援の情報がなく、ペットを手放す選択を強いられ、それに従い後悔した飼い主さんもいたという記事では、「手放すとは具体的にどのような状況になったのだろうか。」「保護犬扱いになったのかもしれない。里親を見つけてもらったのか。」など、その時の飼い主さんやペットの気持ちを思い、情報提供の重要性を共有しました。

次に、「麻生区避難所のペット同行可否」2017.01.20 資料（麻生区危機管理課より）の情報について確認しました。25 避難所中 13 避難所はペット同行



避難が可能とのこと。残念ながら、白鳥中学校の同行避難は不可です。近隣の栗木台小学校では同行避難が可能であることも分かり、「同行避難可能な避難所の受け入れ条件を知りたい。」という意見が出ました。

また、「備えていますか？ペットの災害対策」冊子の川崎市動物の救援体制概略図、川崎市動物救援本部概略図を参照しながら、「具体的な流れを知りたい。」という意見も出ました。

そこで、今後の活動としては、川崎市として・麻生区としてのペットに関する取り組みの現状を把握しようということになりました。

- ① 災害時のペットに関する取り決め
- ② 平常時のペットの防災に関する取り組み
- ③ 29年度の総合防災訓練の日程・場所・訓練内容

これらについて、行政の担当者にヒヤリング実施のお願いをしてみようということになりました。

「ペットとぼうさい」の情報発信についても話し合いました。

地域の方に認知してもらうためにも、自治会の回覧板に毎月掲載しようということになり、内容は、イベントのお知らせや報告、ミニ情報などになりました。

その他、メンバーより犬の避難生活に関する情報資料の提供や、より使いやすいテントの紹介もあり、皆でテント設置と片付けを体験しました。

次回の定例会

日 時	3月18日（土）15：00から
場 所	栗平白鳥自治会館
検討事項	29年度の活動計画検討